

令和5年度 事業実績報告

1, 会務の運営並びに連絡調整

- (1) 社協の円滑な運営と事業推進を図るため役員会の開催
 - ア、理事会 2回 (6月・3月)
 - イ、評議員会 2回 (6月・3月)
 - ウ、評議員選任委員会 1回 (3月)
 - エ、監事会 1回 (5月)
- (2) 行政主管課との連絡・調整
- (3) 福祉団体・施設・包括支援センター・学校・その他関係機関との連絡調整
- (4) 県社協、県共同募金委員会、日赤鹿児島支部との連絡・調整
- (5) 役員・職員の各種会議研修会への参加
- (6) 広報活動
 - 町民の福祉に対する理解と協力を得るために、社協だよりを町広報紙に掲載して広報した。また、ホームページを通じて情報提供を行った。

2, 介護保険事業の効果的運営

- (1) 居宅介護支援事業の実施
- (2) 訪問介護サービス事業の実施

3, 老人福祉活動の推進

- (1) 集落サロン事業の支援：生活支援体制整備事業
- (2) 在宅ねたきり老人への紙おむつサービス事業の実施
共同募金配分金 (延べ人数320名)
- (3) 高齢者いきいき交流事業の実施 (参加支援事業・共同募金)
12回実施 延べ参加人数956名 内サロン参加24名
- (4) 買い物支援の実施
71回実施 延べ利用者数 251名

4, ボランティア活動促進

地域福祉活動に主体的に参加するボランティアの育成と活動を推進するためボランティアの参加と研修を行い、福祉教育の充実を図るとともに地域の実情に即したボランティア活動の促進に努めた。

- (1) 高校生ボランティア体験実施
共同募金街頭募金の実施 (12月Aコープにて実施)
- (2) 福祉教育の推進

- (ア) ボランティア育成協力校の指定
町社協指定協力校（町内全小中学校・特別支援学校9校）
活動助成額 225,000円
- (イ) 児童生徒のふれあいボランティア活動

5, 地域福祉活動事業の推進

地域福祉活動の推進を図るために小地域ネットワーク事業を推進し、地域の要援護者の支援と福祉サービスへのつながりの役割を果たす地域住民ボランティアの育成とネットワークの形成を図り、地域ボランティア活動の促進を図った。

地域共生社会の実現に向け「我が事・丸ごとの地域づくり」の基盤作りを構築するために多機関共同事業、参加支援事業・アウトリーチ事業に取り組んだ。

- (1) 集落代表者に事業説明会・助成金交付
（見守り活動について町内60集落 助成総額944,000円）
- (2) 重層的支援会議 12回開催

6, 生活福祉資金の活用促進

- (1) 民生委員との連携を図り、活用促進を図った。

7, 宅配給食サービスの効果的運営

一人暮らしや虚弱な高齢者、身体障がい者等の方に配食を行うことにより、食生活の改善、健康の保持を図るとともに高齢者の自立した生活の維持や、安否の確認等在宅福祉の推進を図った。

（延べ配食数 4,311食 月平均360食・月平均利用者約33名）

8, 一般社会福祉活動の推進

- (1) 緊急災害援助活動
風水害・火災等による救援物資・見舞金の支給
（日赤・共同募金）

9, 共同募金（歳末たすけあい）運動の実施

社協の重要な財源であることから、募金の主旨の徹底と理解を求め、配分金の使途報告などを行い町民の善意の協力を求めて募金運動を実施した。

配分金	一般配分金	2,050,486円	
	歳末助け合い募金	90,000円	(30名)
	NHK歳末助け合い	7,000円	
	合計	2,147,486円	
令和5年度募金実績額		2,337,052円	

10, 日本赤十字社員社資増強運動の実施

赤十字思想を広く町民に普及し、社員・社資増強に努めた。

令和5年度実績額 1,140,000円

11, 受託事業の実施

- (1) 福祉センターの管理業務
- (2) 福祉サービス利用支援事業
- (3) 生活困窮者自立支援事業
- (4) 多機関協働事業
- (5) 参加支援事業
- (6) アウトリーチ事業
- (7) 生活支援体制整備事業
- (8) 宅配給食サービス事業
- (9) その他

12, その他本会の目的達成に必要な事項を実施した。